

令和6年度 第1回 都田小学校 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月16日（木） 13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 山下 英治、波多野 千津子、森上 茂美、
鈴木 智江、内山 眸、渥美 渡
- 4 欠席委員 小林 宗吉、影山 善久（学校支援コーディネーター）
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（都田協働センター所長）、
伊藤 賢典（都田協働センターCS担当）
- 6 学 校 松下 欣美（校長）、高林 秀仁（教頭）、
杉浦 ひとみ（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 ひとみ
- 9 授業参観とその感想
2年生から6年生の授業を40分ほど掛けて見て回り、以下の感想があった。
 - ・タブレットを使って授業を受けている子供と、使っていない子供がいたが何が違うのか。（山下委員）→学校では調べごとをする時に本を使っても、タブレットを使っても良いとし、子供に選択させている。
 - ・3年生に書写の授業はなかなか大変そう。摘み取った花が置いてあったが何を観察しているのか。（←モンシロチョウの卵）6年生の授業でやっていたインタビューの授業は将来の役に立ちそう。（波多野委員）
 - ・廊下の掲示が温かい。授業でのタブレットやモニターを使った授業が分かりやすい。（森上委員）
 - ・5時間目の国語科の授業は体力的にも大変そうだが、生徒たちは楽しそうに授業を受けていた。2年生の授業の時間に先生が他の子の対応で不在の時間があったが、その間、子供たちはどうやって過ごせば良いか分かっていない様子だったので、教師の指示が大切だと感じた。特に若い先生へ子供に対する指導について示していく必

要性を感じた。3年生の書写の授業では「筆が命だよ。」と伝えた。基本の基本を伝えることが大切。(鈴木委員)

- ・新しく赴任された先生の授業を拝見し、まだ1か月ちょっとしか経っていないが、しっかりコミュニケーションが取れていたように感じた。4年生は国語科の授業で机を合わせて話をしているが、先生が話し出すと「先生がお話しているよ。」と静かにするよう促す子供がいたのが素晴らしい。3年の書写は自己肯定感の高い子供が多いように感じた。自分のことを自分で褒めることが大切。(内山委員)
- ・自分の子供以外の授業を初めてみたが、集中力もあり、自分の考えを伝えようとしている姿を見て感心した。タブレットの使用が増えているが、子供たちの中には字を読むことはできるが、書けない子供が増えている。実際に字を書くことも大切。スピーチの授業があったが自分の考えを人に伝えるために、やはり本を読むことが基礎になるのではないか。(渥美委員)
- ・教室に入った瞬間に子供たちの目の輝き方がすごいと感じた。授業で紙の資料、タブレット、黒板、モニターなど、見なければいけないものがたくさんあり気になった。また授業を拝見し、今後協働センターで開催される講座にも生かせると思った。(谷野)
- ・人の意見を聞いて、自分の意見もしっかり伝えることができることがすごい。学校だけでなく地域の中でも挨拶をよくしてくれる。(伊藤)

10 会議記録

司会の高林教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

11 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、前年度に引き続き森上会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された森上委員から、影山委員を副会長に指名する旨の報告があった。

12 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、森上委員から波多野委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

13 前回会議録、令和5年度協議会自己評価の確認

前回会議録をCSディレクター杉浦から、また令和5年度協議会自己評価を森上委員から報告があった。

14 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (3) 都田小学校いじめ防止基本方針について
- (4) 会議録の内容等の情報発信のあり方

(1) 学校運営の基本方針について

松下校長から、別紙資料に基づき令和6年度の学校経営方針についての説明があった。

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

高林教頭から報告があり、協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3) 都田小学校いじめ防止基本方針について

高林教頭からいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ いじめる側は、自分がされたらどうかなど学校側にも対応いただきたい。いじめていることを自分がされたらどうなのかという思慮は少ない。それをどうやって伝えていくかが課題なのではないか。また挨拶するとき目を見て挨拶できるのは少ない。挨拶が地域の人だけでなく、子供同士でできているのか、少しずつ取り組む必要がある。(渥美委員)
- ・ 個人的な話だが、中学校になる子供同士の遊び方の様子を見て疑問に思うことがあった。自分の子供が最初に遊ぶ約束をした友人を自宅に招いて、一緒に遊ぶのかと思いきや、後から来た友人数名と自宅で遊び始めた。最初に来ていた友人は、家にいた自分の子供の弟と二人でゲームをして遊んだ。子供たちが帰宅したので、息子にどうやって遊んだら良かったのかを聞いてみたところ、息子は特に気にする様子もなく、楽しく遊べたことに満足している様子だった。自分の思いは子供に伝えたが、親としてどうしていくべきだったのか迷ってしまった。(内山委員)
- ・ 人は考えも感じ方も分かり合うことは難しい。だから人のことを知ることや、折り合いをつけることが大切になる。気付いたことが自分の成長につながると考えているので、母の立場で母の思い、気付いたことを伝えることは大切だと感じた。いじめは大人が見えないところで発生する。いじめは発生するのが当然という思いで、私たち職員は見えないところを見る努力をしている。校長室をオープンにしているのは、一人でも多くの子供たちが、家族に自分のことを分かってくれる、聞いてくれるという人が一人でも増えればいいなと思って取り組んでいる。(松下校長)

(4) 会議録の内容等の情報発信のあり方

グループごとに話し合いが行われ、以下の発言があった。

・ A グループ（鈴木、波多野、渥美、OB 伊藤）

学校だよりが回覧されているので、学校運営協議会（CS）のことについても紹介していただきたい。

・ B グループ（内山、山下、森上、OB 谷野）

保護者、地域の方の中には学校運営協議会を知らない方もいる。CS だよりは簡素にして、QR コードをつけて都田小学校のホームページにリンクさせ、ホームページ上で確認していただくのはどうか。

15 運営委員協議会規則

高林教頭から別紙資料に基づき説明があった。

16 次回議長の選出

森上委員から、今回に引き続き、次回も波多野委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は令和6年6月19日（水）午後13：15～16：00、会議室で開催する旨の報告があった。